

# 東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター共催講演会

## UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の活動 —中央アジアの事例を中心に—

日時：2020年11月27日（金）17:05～18:35

場所：オンライン（前半は録画配信、後半はZOOMを用いたリアルタイムでの質疑応答）

ご参加の際には11月20日（金）12:00までに下記参加フォームより事前登録をお願い申し上げます。

ご登録いただいた方に、録画データのGoogle Driveアドレスと、質疑応答の際のZoomアドレスをメールでお送りいたします。

参加フォーム：[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-F1liQqclEf6Ynu11YukUMEyeo1PlitCaoKecITGeBIRi1KQ/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-F1liQqclEf6Ynu11YukUMEyeo1PlitCaoKecITGeBIRi1KQ/viewform?usp=sf_link)

問い合わせ先：[desk@desk.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:desk@desk.c.u-tokyo.ac.jp)



講師の織田靖子氏は、1992年にザンビアのUNHCRで勤務し、その後、モザンビーク、エチオピア、モンテネグロ、パキスタンの各事務所およびジュネーブ本部、2016年からはUNHCR中央アジア事務所の代表として勤務されていらっしゃいました。

本講演会では、これまでのご自身の経験をもとに、UNHCRの活動についてご講義いただきます。難民の保護と同様にUNHCRの重要な任務の一つである無国籍者の保護についてのお話もあります。



※本講演会は、東京大学大学院総合文化研究科「欧州研究特別研究III」および教養学部「ドイツ政治論演習」(担当: 中坂恵美子)の授業の一環として、ドイツ・ヨーロッパ研究センターと共催して行います。